

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第6学年 「社会（東京書籍）」

74時間（70％）

週	内容	小単元名	主な学習内容	時間数	留意点	
		1 わたしたちの生活と政治				※空欄は通常の年間指導計画の時間数で対応。
1	(1) ア-(ア)(ウ), イ-(ア)	1. わたしたちの くらしと日本国 憲法	わたしたちのくらしを支えるしくみ（オリエンテーション）	2	・児童が、現在と過去とのつながりを意識できるよう指導する。 ・学習の進め方を確認する。	
			くらしの中の法やきまり			
			日本国憲法の考え方			
			くらしの中の基本的人権の尊重			
			くらしの中の国民主権			
			くらしの中の平和主義			
2		6時間	まとめる	1		
3	(1) ア-(ア)(ウ), イ-(ア)	2. 国の政治の しくみと選挙	国会の働き	1		
			選挙のしくみと税金の働き	1		
			内閣の働き	1		
			裁判所の働き	1		
		4時間	まとめる	1		
4	(1) ア-(イ)(ウ), イ-(イ)	3. 子育て支援の 願いを表現する 政治 (※選択)	わたしたちの願いと児童センター	1	・市役所の働きと市議会の働きとを関連付け、まとめて扱う。	
			あすばるの活動			
			市役所の働き			
			市議会の働き			
			税金の働き			
		4時間	まとめる	1		
※4		3. 震災復興の願いを 実現する政治 (※選択)	東日本大震災の発生	1	・国と市の復興への取り組みを関連付け、まとめて扱う。	
	東日本大震災への緊急対応					
	復旧・復興に向けた国の支援					
	復興を願う市や市民の取り組み					
	これからに向けたまちづくり					
		4時間	まとめる	1		
		いかす 新聞を読もう		家庭	・新聞記事について感想を書くなどの課題を出し、確認する。	
		2 日本の歴史				
5	(2) ア-(ア)(シ), イ-(ア)	歴史学習の基本をおさえよう（オリエンテーション）		1	・各小単元の学習の際に振り返りなど、活用を図る。	
		1. 縄文のむらから 古墳のくにへ	大昔のむらのくらし	1	・遺跡や出土品の写真、教科書P9「縄文時代の人々の1年の生活」、P10「米づくりの様子」（想像図）等を活用し、学習問題及び学習計画を立てる。	
			板付遺跡と米づくり			
			むらからくにへ			
	巨大古墳と豪族					
		5時間	まとめる	1	・家庭学習の時間を活用しながら、学習問題について、調べてきたことを基にノートやワークシートに整理させたり、文章で記述させたりする。 ・授業では、整理したり記述したりしたこととの交流・検討に重点を置く。	
6	(2) ア-(イ)(シ), イ-(ア)	2. 天皇中心の 国づくり	聖徳太子の国づくり	1	・聖武天皇による政治の様子について関連付け、まとめて扱う。	
			大化の改新と天皇の力の広がり	1		
			仏教の力で国を治める	1		
			大仏をつくる			
			大陸の文化を学ぶ			
		4時間	まとめる	1	・文化については、ワークシート等にまとめさせたり、確認問題等の課題を家庭学習で行わせたりし、確認する。	
8	(2) ア-(ウ)(シ), イ-(ア)	3. 貴族のくらし	貴族と藤原道長	1	・文化については、ワークシート等にまとめさせたり、確認問題等の課題を家庭学習で行わせたりし、確認する。	
			貴族のくらしの中から生まれた文化			
			今に伝わる年中行事			
		2時間	まとめる	1	・調べてきたことを基に、平安時代の文化の特色について、話し合いまとめてことに重点を置く。	
9	(2) ア-(エ)(シ), イ-(ア)	4. 武士の世の中へ	武士の登場と武士のくらし	1	・家庭学習の時間を活用しながら、学習問題について、調べてきたことを基にノートやワークシートに整理させたり、文章で記述させたりする。	
			武士の政治の始まり			
			源氏と平氏が戦う			
			頼朝が東国を治める			
			元の大军がせめてくる			
		4時間	まとめる	1		
	(2) ア-(オ)(シ), イ-(ア)	5. 今に伝わる 室町文化	足利義政が建てた銀閣	1	・文化については、ワークシート等にまとめさせたり、確認問題等の課題を家庭学習で行わせたりし、確認する。	
			新しい文化が生まれる			
		2時間	室町文化と現在のつながり／まとめる	1		
10	(2) ア-(カ)(シ), イ-(ア)	6. 戦国の世から 天下統一へ	戦国大名の登場	1	・教科書P64、65「長篠の合戦図屏風」、P66「3人の武将に関する年表」等を活用し、学習問題及び学習計画を立てる。	
			天下統一を進めた二人の武将			
			ヨーロッパ人の来航			
			安土城と織田信長			
			大阪城と豊臣秀吉			
11		5時間	まとめる	1		

12	(2) ア-(キ)(シ), イ-(ア)	7. 江戸幕府と政治の安定	徳川家康と江戸幕府	1	江戸幕府の支配について、幕府の政策と大名統制を関連付け、まとめて扱う。
			将軍による支配の安定	1	
			大名の取りしまりと参勤交代	1	
			人々のくらしと身分	1	
			キリスト教の禁止と鎖国	1	
5時間	まとめる	1			
13	(2) ア-(ク)(シ), イ-(ア)	8. 町人の文化と新しい学問	江戸や大阪のまちと人々のくらし	2	文化については、ワークシート等にまとめさせたり、確認問題等の課題を家庭学習で行わせたりし、確認する。 ・「新しい学問・蘭学」「国学の発展と新しい時代への動き」については、次小単元の学習内容(倒幕の動き)とつながることを意識して指導する。
			人々が歌舞伎や浮世絵を楽しむ		
			新しい学問・蘭学		
			国学の発展と新しい時代への動き		
3時間	まとめる	1			
14	(2) ア-(ケ)(シ), イ-(ア)	9. 明治の国づくりを進めた人々	江戸から明治へ	1	
			若い武士たちが幕府をたおす	1	
			大久保利通と明治新政府の改革	1	
15	(2) ア-(ケ)(シ), イ-(ア)	9. 明治の国づくりを進めた人々	新しい世の中の文化や生活	家庭	文化については、ワークシート等にまとめさせたり、確認問題等の課題を家庭学習で行わせたりし、確認する。
			板垣退助と自由民権運動	1	
			伊藤博文と国会開設、大日本帝国憲法	1	
			まとめる	1	
			6時間		
16	(2) ア-(コ)(シ), イ-(ア)	10. 世界に歩み出した日本	条約改正をめざして	1	
			発展していく日本	1	
			中国やロシアと戦う	1	
			世界へ進出する日本	1	
17	(2) ア-(サ)(シ), イ-(ア)	11. 長く続いた戦争と人々のくらし	生活や社会の変化	家庭	文化については、ワークシート等にまとめさせたり、確認問題等の課題を家庭学習で行わせたりし、確認する。
			まとめる	1	
			5時間		
18	(2) ア-(サ)(シ), イ-(ア)	11. 長く続いた戦争と人々のくらし	世界文化遺産の原爆ドーム	1	核兵器の脅威等について扱う。
			中国との戦争が広がる		
			戦争が世界に広がる		
			すべてが戦争のために		
			空襲で日本の都市が焼かれる		
5時間	原爆投下と戦争の終わり	1	戦時中の日本の様子について、戦禍の広がりや国民生活とを関連付け、まとめて扱う。		
	まとめる	1			
19	(2) ア-(サ)(シ), イ-(ア)	12. 新しい日本、平和な日本へ	敗戦直後の人々のくらし	1	戦後改革、国際連合と日本の国際復帰、高度経済成長について扱う。
			民主主義による国をめざして		
			再び世界の中へ		
			高度経済成長の中の東京オリンピック		
			変化の中の日本		
			これからの日本を考えよう		
5時間	まとめる	1	家庭学習の時間を活用しながら、学習問題について、調べてきたことを基にノートやワークシートに整理させたり、文章で記述させたりする。		
20	(3) ア-(ア)(ウ), イ-(ア)	3 世界の中の日本	人類共通の願い(オリエンテーション)	1	事前に児童に家庭で教科書を読ませ、おおよそ調べる国を決めた状態から授業をするとよい。
			1. 日本とつながりの深い国々		
			日本と関係の深い国を探そう		
			調べる国を決めよう		
			アメリカの学校の様子(※)		
			人々のくらしと年中行事(※)		
			広い国土を生かした産業と多文化社会(※)		
5時間	まとめる	1	教科書で例示されている4か国(アメリカ、中国、韓国、サウジアラビア)等から1か国を選択して、日本との違いを中心に調べる。		
21	(3) ア-(イ)(ウ), イ-(イ)	2. 世界の未来と日本の役割	世界各地で起こる紛争	1	地球規模で発生している課題を、複数取り上げる。
			国際連合で働く人々		
			持続可能な社会をめざして		
			国際協力の分野で活やくする人々		
			4時間		
	いかに 紛争や難民をなくすために	家庭			

※時間数の精選方法(例)

○授業の工夫

- ①多くの学習活動を設定するのではなく、単元の課題(学習問題)の解決や本時のめあての達成につながる学習活動を設定するなど精選を図る。
- ②小学校3～5年生の学習や、6年生での既習事項を生かして、調べまとめるなど、課題を解決するための方法を工夫する。
- ③新聞や4コママンガ等でまとめる作業に時間を割くのではなく、学習問題について調べてきたことをノートやワークシート等に整理させたり、文章で記述させたりする等の活動に重点を置くなど、単元末のまとめ方を工夫する。
- ④年表や絵画など資料の特性に留意した読み取り方について、まとめて指導したり、資料の読み取り方のマニュアル等を作成し、学級全体で共有したりするなど、資料の読み取り方の指導を工夫する。
- ⑤学習したことを家庭学習の時間を活用しながらまとめさせることで時数の確保に努め、資料などを用いて説明したり、根拠や理由などを明確にして議論したりする活動を位置付けるようにする。
- ⑥「ひろげる」については、読み物資料として扱ったり、適宜、学習の中で取り上げたりする。

○家庭学習との連携

- ①次時の授業に向けて、事前に、教科書を読んだり、資料を読み取ったりさせる。
- ②授業で学んだことについて、家庭でノートやワークシートにまとめさせたり、確認問題をさせたりする。
- ③各児童の学習のまとめや振り返りの内容を共有するために、ノートのコピーを児童に配布する等の工夫をする。